

# 地域社会学会会報

No.242 2024.11.25

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 横浜国立大学都市科学部  
齊藤麻人研究室内

TEL 045-339-3291(直) FAX 045-339-3291 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728  
E-mail [jarcs.office@gmail.com](mailto:jarcs.office@gmail.com) URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

## ◆…………… 〈 会報 242 号のトピック 〉 ……………◆

- 1) 2024年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認をお願いします。

## 目次

- 12月7日(土)開催の第3回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い
1. 理事会からの報告
  2. 研究委員会からの報告
  3. 編集委員会からの報告
  4. 国際交流委員会からの報告
  5. 事務局からの報告
  6. 会員異動
  7. 会員の研究成果情報
  8. 理事会のご案内

## 2024年度第3回研究例会のご案内

日時 2024年12月7日(土) 13:30~17:00  
会場 龍谷大学大阪梅田キャンパス(ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー14階)  
(対面と ZOOM によるハイフレックス形式)

※アクセス方法等は、開催2日前をめどに、会員メーリングリストで配信します。

### 【報告】

阿部博哉(国立環境研究所)

「気候変動適応推進の取り組みと沿岸生態系を対象とした適応研究」

### 【地域社会学会50周年記念事業「地域社会学を振り返る」(7)】

「都市-農村関係の地域社会学をめざして:都市移住者・都市同郷団体に注目して」

報告者 鱒坂学(同志社大学名誉教授)

杉本久未子(元大阪人間科学大学)「コメント」

# 12月7日(土)開催の第3回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

## 1. 会場にご参加のみなさま

会場： 龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2  
ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー14階  
TEL 06-6344-0218

アクセス：[https://www.ryukoku.ac.jp/osaka\\_office/access/](https://www.ryukoku.ac.jp/osaka_office/access/)  
(クリックしていただくと詳しい順路を見られます)

JR「大阪駅」桜橋出口より徒歩4分(改札口から地下に降りて直結)  
大阪メトロ四つ橋線「西梅田駅」3番出口すぐ(地下通路で直結)  
大阪メトロ御堂筋線「梅田駅」より徒歩5分  
大阪メトロ谷町線「東梅田駅」より徒歩6分  
JR「北新地駅」より徒歩2分  
阪神電車「大阪梅田駅」より徒歩すぐ  
阪急電鉄「大阪梅田駅」より徒歩10分  
京阪中之島線「渡辺橋駅」より徒歩約10分



## 2. オンラインでの参加のみなさま

### <事前の準備のお願い>

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

### <当日のお願い>

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

### <配布資料について>

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

### <質問・発言について>

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。
  - ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
  - ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
  - ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

### <Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

### <当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

### 当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp [アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

### <問い合わせ先>

- ◆ 当日の Zoom 操作に関する以外は、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9 [アット] f.mail.nagoya-u.ac.jp) までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

## 1. 理事会からの報告

2024年度地域社会学会第2回理事会は、2024年10月19日（土）の10時30分～12時15分まで東洋大学白山キャンパス（+オンライン）で行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

小山弘美、齊藤麻人、清水洋行、二階堂裕子、藤井和佐、松宮朝、町村敬志、室井研二、望月美希、阪口毅、佐藤洋子、武田俊輔、辻岳史、三浦倫平、渡邊隼

理事会では報告事項8件、審議事項5件が議論されました。

### （1）2024年度研究例会について

第4回例会を2月1日（2025年）東京大学本郷キャンパスで開催する。

### （2）終身会員について

事務局から学会員の高齢化に伴い将来的に財務上の問題になる懸念が表明されました。しかし、現状では財政を圧迫する状況ではないことから、会則の変更等を考える段階ではないという結論に達しました。

### （3）学会HPのSMOOSYへの移行について

HP移行WGのメンバーとして、事務局から渡邊理事を選出しました。

移行の日程については2026年度から新しいサイトに移ることを想定しています。

現サイト内の論文検索データベースについて、ブラウザがインターネットエクスプローラーでないと機能しないことや、J-StageやCiNiiなど他の検索サービスもあることから、今後は廃止とする方向で進めます。

（齊藤麻人）

## 2. 研究委員会からの報告

去る10月19日（土）に2024年度第2回研究例会が、東洋大学白山キャンパスにて開催されました。対面参加が19名、オンライン参加が最大時で30名、合計50名ほどでした。研究委員会を代表して室井が今期の研究課題「地域と「自然」—環境変動への適応」の趣旨や関連する研究動向について報告しました。地域社会学にとってなじみのないテーマであるため、フロアから反応がないことを恐れていたのですが、報告者がたじたじとするほど多くの意見、質問が寄せられました。地域社会学会50周年企画からは、細谷昂先生から「私と社会調査・再説～地域社会研究会への参加と関連させて～」と題する報告がなされ、これについても活発な議論が行われました。当日の報告、質疑の概要は『地域社会学会ジャーナル』第18号の報告論文と批評論文をご参照ください。

第3回研究例会は12月7日に龍谷大学大阪梅田キャンパスで開催されます（ハイブリッド形式）。報告者は国立環境研究所気候変動適応センターの阿部博哉氏（非会員）です。国立環境研究所は気候変動に関する研究の拠点機関です。阿部氏は同センターで主に沿岸部の自然生態系の気候変動影響や適応策に関する研究に従事されてきましたが、フィールド調査に取り組む中で地域社会の側の資源利用・管理（漁業や観光等）にも関心が向かうようになったとのこと。気候変動適応に関する生態学的アプローチと社会的アプローチの接点を探る議論が深まることを期待しています。50周年企画からは、鯉坂学先生に地域社会学における都市—農村関係の研究の展開についてご講演頂く予定です。多くみなさまのご参加をお待ちしています。

（室井研二）

## 3. 編集委員会からの報告

10月3日に第2回編集委員会をオンラインで開催しました。9月末締切で6本の自由投稿論文の提出があり、査読担当者を決定しました。お忙しいなか、査読をお引き受けくださった会員の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

また、横山智樹会員（高崎経済大学）、角一典会員（北海道教育大学）、新藤慶会員（群馬大学）の3名の会員に、編集委員会に加わっていただきました。

(松宮朝)

#### 4. 国際交流委員会からの報告

9月28日に第1回の委員会を開催しました。委員として陸麗君会員（福岡県立大学）と林真人会員（金城学院大学）が追加されました。

2025年7月6日～11日の日程でISA Forum（国際社会学会フォーラム）がモロッコのラバトで行われますが、参加される方で地域社会学会ジャーナルへ記事執筆をしても良いという場合は、国際交流委員会まで連絡してください。

(小山弘美)

#### 5. 事務局からの報告

##### (1) 会費納入状況

2024年10月4日時点の会員は385名（一般339名、院生27名、終身19名）で、2024年度の会費納入率は30%でした。

##### (2) 会報241号・ジャーナルNo.17の発行

庶務担当理事から学会HP上で会報241号とジャーナルNo.17の発行が報告されました。

##### (3) 会費納入のお願い

2024年度の会費納付率が低いことについて、会費納入がSMOOSYに移管されたことに伴い、それまで年報送付時に同封されていた振込用紙がなくなったことなどが影響しているとの指摘を受け、今後は未納者への財務担当理事からの督促を増やしたり、HP上でSMOOSYでの納付方法について周知するなどの対策を講じていきます。**会費納入にご協力をお願いします。**

(齊藤麻人)

#### 6. 会員異動

##### <新入会員>

藤井善仁	武庫川女子大学	都市農村交流
高橋学	株式会社フジタ	市街地再開発
眞田貴絵	立命館アジア太平洋大学	新自由主義、中央と地方の関係性
野元明俊	放送大学大学院	多文化共生、新大久保地域における地域課題

##### <終身会員>

有末賢  
佐藤友光子

(以上、2024年10月19日理事会で承認)

#### 7. 会員の研究成果情報(2023～2024年度)

なし

#### 8. 理事会のご案内

第3回理事会

日時 12月7日(土) 10:30～12:30

龍谷大学大阪梅田キャンパス+ハイブリッド